

科目名 人体の構造	授業担当者 板東 良雄	所属 秋田大学大学院医学系研究科 機能形態学講座	
開講時期:前期～中期	単位数:1 単位	時間数:30 時間	
授業の目的 人体を構成する細胞・臓器・器官の名称・構造・機能について、基本的な事項を理解する。			
授業の概要 正常人体の構造(解剖)だけでなく機能(生理)を関連づけて理解し、主要器官・組織の正常構造について講義する。また、各器官がどのように統合的に活動しているのか、様々な疾患はそれらの正常機能が破綻することによって成り立っていることを理解する。			
受講上の注意・事前学習の内容 スライドと板書を用いて講義を展開するが、主に解剖学の内容を概説する。各器官系を構成している主な細胞を列挙し、臓器や器官の基本的な構造や機能について説明できるようになることを到達目標とする。ここで学習することのすべてが専門科目を学ぶための基礎知識として必須となるため、試験に合格することが目標ではなく、臨床で実際に使える知識を身につける。 <u>講義スピードがかなり速いので、予習・復習を十分に行うことが望まれる。</u>			
授業回数	学習内容	方法	備考
1	看護の土台となる解剖生理学:解剖学的用語を正しく使うことができる。	講義	
2	細胞と組織:細胞と組織の基本的構造を説明できる。	講義	
3	骨格系:骨組織を構成する細胞と骨および関節の基本的構造を説明できる。 全身の主な骨と関節を列挙し、その特徴を概説できる。	講義	
4	筋肉系:筋組織を構成する細胞と全身の主な筋を列挙することができる。	講義	
5	筋肉系:筋組織を構成する細胞と全身の主な筋を列挙することができる。	講義	
6	循環器系:心臓および全身の脈管系の基本的構造を概説できる。	講義	
7	呼吸器系:気道および肺の基本構造を概説できる。	講義	
8	消化器系:消化器を構成する臓器・器官の基本構造を概説できる。	講義	
9	泌尿器系:腎臓および泌尿器を構成する基本構造について概説できる。	講義	
10	生殖器系:基本構造と性差による違いを概説できる。	講義	
11	内分泌系:全身の内分泌器官の構造を概説できる。	講義	
12	神経系(1):中枢神経の基本構造を概説できる。	講義	
13	神経系(2):末梢神経(自律神経系と脳神経系)の基本構造を概説できる。	講義	
14	神経系(3):末梢神経(自律神経系と脳神経系)の基本構造を概説できる。	講義	
15	感覚器系:皮膚、視覚器、聴覚器の構造を概説できる。	講義	
	試験(中間試験あり)		
テキスト 系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 医学書院			
参考書・指定図書 ナーシンググラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学(メディカ出版)、からだが見える 人体の構造と機能(medic media)、トトラ人体の構造と機能(丸善)、人体の解剖生理学(金芳堂)、解剖生理学(南山堂)、レベル別看護 100 問学校(宣広社)など。 概して高価なので、自分に合ったものを選べばよい。			
評価の方法 試験の成績に加え、出席状況を加味して総合的に評価する。			

*この科目は実務経験のある教員による科目となります